

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線 5182
部 名	学校教育部	課 名	指導課	課長名	小塚 牧夫
事務事業名	教職員研修				
予算上の事務事業名	教職員研修費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 研修・講座 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
教師一人ひとりが確かな実践力を身に付け、その資質の向上を図ることにより、児童・生徒の豊かな人間性を育む。			相模原市立小・中学校教職員		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1 管理職研修 (1) 全校長研修(2回、5月、6月) (2) 全教頭研修(1回、10月) (3) 新任校長研修(1回、4月) (4) 新任教頭研修(4回、4～7月)					
2 教員研修補助事業の実施 奨励金を支給し、教員の資質向上のための研修を実施する。 (1) 県外委託研修 県外の優良校に5日間派遣 28名 (2) 県外視察研修 県外優良校の視察、研究発表大会への参加 10名 (3) 海外派遣研修 海外(中国)の教育施設等の実状を視察 9日間派遣 3名					
3 県委託研修 県が実施する研修に参加 63名					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	17,966	4,112	2,819	3,319	3,319
一般財源	17,966	4,084	2,798	3,319	3,319
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	28	21	0	0
人件費の合計	1,773	1,477	1,356	1,191	1,191
事業コスト合計(a)	19,739	5,589	4,175	4,510	4,510
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	県外委託研修事業			対象名称(単位)	研修受講者
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	3,084	2,750	2,192	1,826	1,826
対象数	40	35	28	23	23
単位あたり経費(円)	77,100	78,571	78,286	79,391	79,391
前年度比		1.02	1.00	1.01	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	県外委託研修の実施回数		指標式と指標の説明	県外委託研修受講者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	40.0	35.0	28.0			
目標	40.0	35.0	28.0	23.0	23.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	県外委託研修の実施		指標式と指標の説明	県外委託研修受講者数÷県外委託研修実施数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	100.0	100.0	100.0			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	100.0	100.0	100.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 研修の成果を、教師等へより一層効果的なフィードバックの方法・機会等について検討を図る。			14 課題として認識されたこと			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				